

用語解説

AR

Augmented Realityの略。現実世界(実空間)の情報をICT技術を使ってユーザーに提供する手段で、「拡張現実(感)」や「増強現実(感)」とも呼ばれる。仮想現実(Virtual Reality)が仮想的な空間で情報を提供していたのに対し、現実の空間にタッチパネルやウェアラブルなインタフェースを使って必要な情報を付け加えることを指す。

CPU

Central Processing Unit(中央演算処理装置)の略。コンピュータにおいて演算・制御を行う装置。記憶装置から命令を読み込み、演算し、各種の記憶装置や出力装置に演算結果を通知する。

IaaS

Infrastructure as a Serviceの略。コンピュータシステムを構築・稼働させるために必要なネットワーク回線やサーバなどのインフラを、ネットワーク経由で利用するクラウドコンピューティングの形態の1つ。

ICT

Information(情報)、Communication(通信)、Technology(技術)の略。情報処理および情報通信。

IoT／Internet of Things

IoE／Internet of Everything

インターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。

LTE／LTE-Advanced

Long Term Evolution(ロング・ターム・エボリューション)の略で、携帯電話の通信規格の一種。3Gより高速のデータ通信が可能。LTE-Advancedは後継モデル。第4世代(4G)携帯通信規格の一つで、LTE(Long Term Evolution)と技術的な互換性を保ち、さらに高度化・高速化し、光ファイバー並みの超高速通信が可能になる。

Milbeaut®

富士通セミコンダクターの提供するイメージング・プロセッサ。各種イメージセンサから取りこんだ信号を高速・高画質処理する機能を持つ画像処理用のLSI。デジタルカメラ向けのもの、携帯電話向けのもの(Milbeaut Mobile)がある。

NFC

Near Field Communicationの略。近接場型の無線通信。

PaaS

Platform as a Serviceの略。アプリケーションを開発・実行するために必要なハードウェア、OSなどの環境をネットワーク経由で利用するクラウドコンピューティングの形態の1つ。

PCサーバ(X86サーバ)

パソコンと同じ設計のサーバのこと。具体的にはx86系プロセッサを搭載したサーバを指すことが多く、必ずしもエンタリーサーバに限らない。大量に出荷されているパソコンと共通の部品を多く使えるため、性能の割に安いのが特長。

POS

Point of Salesの略。販売情報を即時に管理するシステムのこと。

RISC

マイクロプロセッサの設計様式の一つ。個々の命令を簡略化することによりパイプライン処理(並行して複数の命令を処理する方式)の効率を高め、処理性能の向上を図っている。

SaaS

Software as a Serviceの略。サービス提供者が用意したソフトウェア(アプリケーション)の機能を、ネットワーク経由で利用するクラウドコンピューティングの形態の1つ。

SI

System Integration(システムインテグレーション)の略。システム構築。

SNS

Social Networking Serviceの略。社会的つながりをインターネット上で構築するサービス。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。

Software Defined Networking(SDN) ／Network Functions Virtualization(NFV)

ネットワーク構成をソフトウェアを使って動的に設定、制御するためのしくみで、ネットワークの仮想化を実現する技術。

Tier

米国の民間団体であるThe Uptime Instituteが作成したデータセンター評価基準。データセンターの品質を、付帯設備の冗長性などにより評価・格付けしている。Tier1からTier4まで評価レベルがある。

Ultrabook™

米インテル社が提唱する薄型・軽量のモバイル・ノートパソコンのこと。電源を入れてから起動するまでの時間が短いことなどが特長。

UNIXサーバ

1968年 アメリカAT&T社のベル研究所で開発されたOSで動くサーバ。RISC処理により処理性能を高めている。富士通では、ハード上の故障や不具合がお客様業務を止めることのないように、システムダウンを最小限に抑えるテクノロジーを多数取り入れている。

Vehicle(ビークル)ICT

ICTの力で、車と社会をつなげるもの。タブレット端末をセンターコンソールとし、車載サーバをメインに車内外の情報をクラウドシステムでつなげることで、快適で安全な「スマートカー」の実現を目指す。

アウトソーシング

企業内の一部の業務を外部の専門業者に委託すること。コンピュータ分野では、社内システムの運用管理を一括して外部の専門業者に委託することで、そのサービス自体を指す場合もある。

アジャイル(システム開発)

ソフトウェアを迅速に、また、状況の変化に対して柔軟に対応できるよう開発する手法の総称。短いプロセスを何度も反復して次第に全体を組み立てていくアプローチの手法が多い。

ウェアラブル(コンピュータ、デバイス)

身につけて持ち歩くことが出来るコンピュータのこと。

ウォーターフォール型(システム開発)

開発プロジェクトを時系列に、「要求定義」「外部設計(概要設計)」「内部設計(詳細設計)」「開発(プログラミング)」「テスト」「運用」などの作業工程(局面、フェーズ)に分割し、原則として前工程が完了しないと次工程に進まないことで、前工程の成果物の品質を確保し、前工程への後戻り(手戻り)を最小限にする開発手法。

エコシステム

複数の企業が商品開発や事業活動などでパートナーシップを組み、互いの技術や資本を生かしながら、開発業者・代理店・販売店・宣伝媒体、さらには消費者や社会を巻き込み、業界の枠や国境を超えて広く共存共栄していく仕組み。

オールIP

従来の回線交換機やTDM(時分割多重)ではなくIP(インターネット プロトコル)技術だけを使用すること、あるいはIPだけで構成したネットワークのこと。

オフショア

システムやソフトウェアの開発や、運用、保守などを、海外の子会社や事業者に委託すること。

オムニチャネルマーケティング

実店舗やオンラインストアをはじめとするあらゆる販売チャネルや流通チャネルを統合すること、および、そうした統合販売チャネルの構築によってどのような販売チャネルからも同じように商品を購入できる環境を実現すること。

仮想化

プロセッサやメモリ、ディスク、通信回線など、コンピュータシステムを構成する資源(および、それらの組み合わせ)を、物理的構成に拠らず柔軟に分割したり統合したりすること。1台のサーバコンピュータをあたかも複数台のコンピュータであるかのように論理的に分割し、それぞれに別のOSやアプリケーションソフトを動作させる「サーバ仮想化」や、複数のディスクをあたかも1台のディスクであるかのように扱い、大容量のデータを一括して保存したり耐障害性を高めたりする「ストレージ仮想化」などの技術がある。

クラウド/クラウドコンピューティング

ネットワークの向こう側に存在するICTリソース(サーバ、ストレージ、ネットワーク、OS、ソフトウェアなど、コンピュータを十分に動作させるために必要な環境を作る資源のこと)を、ネットワーク経由で、必要なときに必要なだけすぐに利用できる形態。

サービスデリバリー

顧客へ適切なサポートサービスを供給し保証するためのプロセス。

シンクライアント

ユーザーが使う端末に必要最小限の処理をさせ、ほとんどの処理をサーバ側に集中させた方式。

スイッチ

ネットワークにおいて中継を行う機器(ハブ)。

スーパーコンピュータ/スパコン

極めて計算能力が高い大型のコンピュータのこと。一般的なコンピュータでは解くことが困難な大規模で高度な科学技術計算を高速に行うことができ、主に研究機関や企業などで使われている。

ストレージ

データを永続的に記憶する装置。磁気ディスク(ハードディスクなど)や光学ディスク(CD/DVD/Blu-ray Discなど)、フラッシュメモリ記憶装置(USBメモリ/メモリカード/SSDなど)、磁気テープなどがこれにあたる。

スマートフォン

通話やメールだけでなく、自分でソフトウェアを追加することができる携帯電話のこと。

セルフチェックアウトシステム

お客様が、バーコードを自分で読み取らせ、精算まで行うセルフレジ。

ゼロクライアント

汎用のパソコン向けOSなどは搭載せず、ネットワーク接続や画面描画・ディスプレイ出力、キーボード・マウス入力などの機能のみを持ち、情報処理の機能のほぼすべてを仮想デスクトップ機能によりサーバ上で実行する処理方式。

データセンター

コンピュータを設置するために設計、建設された専用の施設やビルのこと。

データマイニング

統計学、パターン認識、人工知能等のデータ解析の技法を大量データに網羅的に適用することで知識を取り出す技術。

デジタルマーケティング

購買行動の多様化の流れをうけて、ネット(ECサイト、ソーシャルメディアなど)やリアル(実店舗)を融合させたオムニチャネル活用により個々の顧客への新たな価値を提供するプロモーション方法。

バックボーン(ネットワーク)

ネットワークの中核となる基幹回線のこと。

パブリッククラウド

サービス提供者が提供するサーバやストレージ、OSなどのICTリソースを、ネットワーク経由で利用する形態。企業や個人など、不特定多数を対象に、ネットワーク経由で提供されている。自社内でシステムを構築する必要がなく、資産の所有や運用の必要がない。

光伝送システム／光伝送(装置)

光を媒体にした通信信号を光ファイバーを介して通信する大容量・高速・高品質・長距離が可能な有線通信システム。

ビッグデータ

大量かつ多種多様なデータのこと。それらを活用し、新たな価値を生み出すことにより、注目を集めている。

ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ(HCIS)

ICTの利活用によって人々がより豊かに、より安心・安全、快適に暮らせる社会を実現するという富士通のビジョン。

標準化(システム開発)

仮想環境・物理環境間、複数のベンダー間などにおいて、製品やシステムの構造や形式を統一させること。同じ手順・プロセスで作業ができるため、作業の効率化が図れる。

ファウンドリ

半導体の設計データや製造プロセス条件などを入手して、前工程の製造を行う半導体メーカーの形態のこと。先端投資を積極的に行い、製造技術で優位性を発揮することでビジネスを拡大している。

ファブレス

開発・設計のみを自社で行い、全ての製造を外部に委託するビジネスモデル。

フィーチャーフォン

スマートフォンに対する従来の携帯電話のこと。

プライベートクラウド

不特定多数が共同利用できるパブリッククラウドに対し、専用のクラウド環境を構築し、利用する形態。

ホスティング

自社施設に設置しインターネットに接続された情報発信用のコンピュータ(サーバ)の機能を、遠隔から顧客に利用させるサービス。

マネージド・サービス

ICTシステムの保守・管理をお客様に代わって実施するアウトソーシングの形態の1つ。例えばPCやサーバなどのハード機器の場合、機材の入手・設置からOSなど基本的なソフトウェアの導入、運用中の死活監視、障害発生時の再起動、機材故障時の交換、24時間365日の電話やメールによる問い合わせなどのサポートをお客様に代わって実施すること。

メインフレーム

汎用大型コンピュータの別称。通常は数百から数千の端末がネットワークで接続され、多数のユーザーによって共有される。銀行や保険会社など、中央で集中的にデータを処理する必要性の高い企業の基幹システムとして使用されることが多い。

モダナイゼーション

既存のICT資産をスリム化して、永く使えるシステムインフラに置き換えること。

モバイルバックホール

様々な場所にある多数のモバイル基地局を収容して、モバイル端末からのデータトラフィックをモバイルコアネットワークに転送する役割を担うネットワークのこと。

ルータ

ネットワーク上を流れるデータを他のネットワークに中継する機器。

100Gパケット統合光システム

従来、別々に設置していたスイッチ(IPパケット)装置と光伝送装置(光波長多重およびTDM光伝送)の、それぞれのレイヤーを統合し、設置台数・保守コストを削減し、100Gを収容できる大容量、高速光伝送システム。